



## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エイテイング  
コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 池田 良章

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,416	△18.8	65	△81.5	66	△81.9	32	△86.6
25年9月期第3四半期	1,743	3.1	353	82.5	365	86.1	245	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 32百万円 (△86.6%) 25年9月期第3四半期 245百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第3四半期	6.31	—
25年9月期第3四半期	47.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,904	—	1,676	—	—	88.0
25年9月期	2,145	—	1,747	—	—	81.5

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 1,676百万円 25年9月期 1,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当金の内訳: 普通配当10円00銭、記念配当10円00銭

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,042	△18.1	△80	—	△79	—	△68	—	△13.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	5,523,800 株	25年9月期	5,523,800 株
26年9月期3Q	323,000 株	25年9月期	323,000 株
26年9月期3Q	5,200,800 株	25年9月期3Q	5,200,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかな回復基調を続けているなかで、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動はあったものの、次第にその影響は薄れつつあります。この先も各種政策の効果が現れるなかで、緩やかに景気が回復していくことが期待されております。

このような経済環境のなか、当第3四半期連結累計期間におけるゲーム業界は、家庭用を含めたゲームコンテンツ全体の売上が堅調に推移し、引き続き市場は活況を呈しました。

家庭用ゲームソフト市場におきましては、2013年度の市場規模は約2,515億円（株式会社KADOKAWA調べ）となり、ここ数年は軟調に推移しております。しかしながら、「プレイステーション4」や「Xbox One」など新機種の市場投入もあってハード及びソフトの売上は全世界で好調に推移しており、この先年末に向けて有力タイトルの発売が相次いで予定されていることから、今後のハード・ソフト双方の需要拡大が期待されております。

また、スマートフォンやタブレット向けのゲームコンテンツ市場におきましても、市場の拡大が今後も続く予想され、有力IPを使用したコンテンツなど配信コンテンツ数がより増加することで、市場のさらなる盛況が期待されております。

こうした業界動向のもと、当社グループは、ゲームコンテンツを通じて「感動」と「喜び」をユーザーへ提供すべく、市場の変化やユーザーのニーズに柔軟に対応できるようプラットフォームやジャンルを問わない開発・運用運営体制の拡充を進めております。その一環といたしまして、多種多様な事業に迅速かつ的確に対応する製販一体型の体制構築を主旨として、6月1日付で組織変更を実施いたしました。

従来から手掛けております開発及び運用運営の受託案件につきましては、進捗状況は概ね順調に推移しております。引き続き新規案件受託に向けて積極的な営業活動を行い、更なるタイトル数の確保に努めてまいります。

また、新たに着手しました自社コンテンツの開発及び運用運営案件につきましては、7月に初のオリジナルネイティブゲームアプリとなる「激突！ブレイク学園」の配信を開始し、今後につきましても順次開発を進め、配信へ向けた準備を進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は1,416,159千円（前年同四半期は売上高1,743,019千円）、営業利益は65,431千円（前年同四半期は営業利益353,145千円）、経常利益は66,388千円（前年同四半期は経常利益365,809千円）、四半期純利益は32,828千円（前年同四半期は四半期純利益245,597千円）となりました。

なお、当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,364,093千円となり、前連結会計年度末に比べ392,802千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が346,763千円減少したことによるものであります。固定資産は540,399千円となり、前連結会計年度末に比べ152,161千円増加いたしました。これは主にコンテンツ仮勘定が179,468千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,904,493千円となり、前連結会計年度末に比べ240,640千円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は226,354千円となり、前連結会計年度末に比べ169,454千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が172,533千円減少したことによるものであります。固定負債は1,702千円となり、前連結会計年度末に比べ1千円増加いたしました。

この結果、負債合計は228,056千円となり、前連結会計年度末に比べ169,452千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,676,437千円となり、前連結会計年度末に比べ71,187千円減少いたしました。これは主に四半期純利益32,828千円及び剰余金の配当104,016千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は88.0%（前連結会計年度末は81.5%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月30日の「業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,247	986,483
受取手形及び売掛金	322,763	268,245
仕掛品	3,452	15,245
その他	97,432	94,119
流動資産合計	1,756,895	1,364,093
固定資産		
有形固定資産	94,909	79,512
無形固定資産		
ソフトウェア	199,306	173,171
ソフトウェア仮勘定	—	13,312
コンテンツ仮勘定	—	179,468
その他	736	736
無形固定資産合計	200,042	366,688
投資その他の資産	93,285	94,198
固定資産合計	388,238	540,399
資産合計	2,145,133	1,904,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,000	27,668
未払法人税等	172,533	—
その他	170,275	198,685
流動負債合計	395,808	226,354
固定負債		
資産除去債務	1,700	1,702
固定負債合計	1,700	1,702
負債合計	397,509	228,056
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,457,685	1,386,498
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,747,624	1,676,437
純資産合計	1,747,624	1,676,437
負債純資産合計	2,145,133	1,904,493

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,743,019	1,416,159
売上原価	1,079,059	961,978
売上総利益	663,960	454,180
販売費及び一般管理費	310,815	388,748
営業利益	353,145	65,431
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	6,000	—
本社移転費用引当金戻入額	4,735	—
還付加算金	1,734	805
その他	194	150
営業外収益合計	12,664	956
経常利益	365,809	66,388
特別損失		
固定資産除却損	23	18
減損損失	39,728	—
本社移転費用	6,518	—
特別損失合計	46,270	18
税金等調整前四半期純利益	319,539	66,370
法人税等	73,942	33,541
四半期純利益	245,597	32,828
四半期包括利益	245,597	32,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,597	32,828

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。